

# ロシア・トルコ景気概況 (2022年10-12月)

2023年1月6日

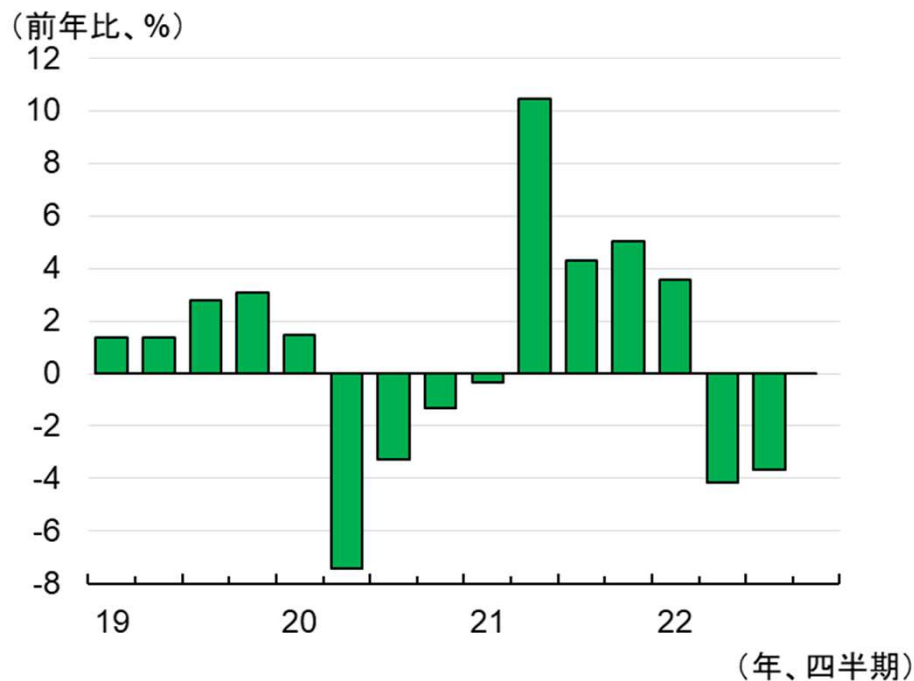
調査部 副主任研究員 土田陽介



## ロシア景気概況① 景気は悪化している

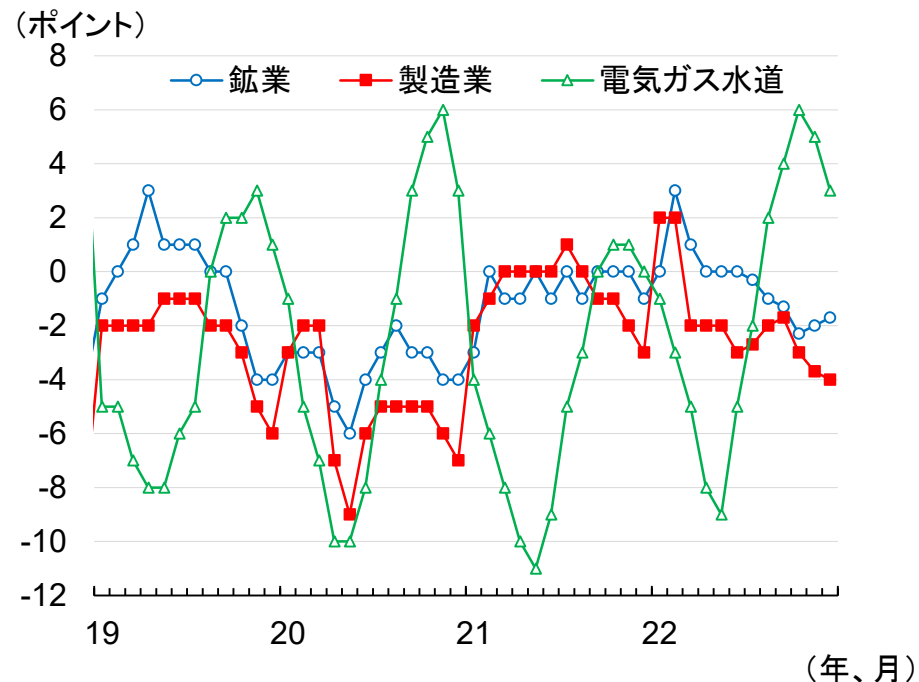
ロシアの2022年7-9月期の実質GDPは前年比▲3.7%と、前期に続いてマイナス成長となった。続く10-12月期の企業の景況感指数は、鉱業が持ち直した反面、製造業が低下した。

### 実質GDP



(出所)ロスタット

### 企業景況感指数

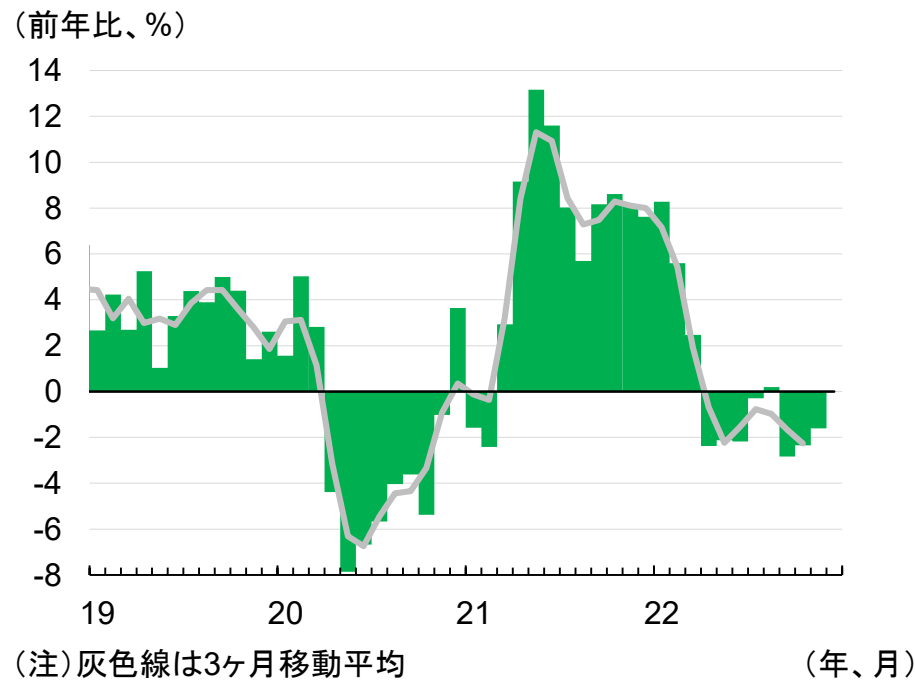


(出所)ロスタット

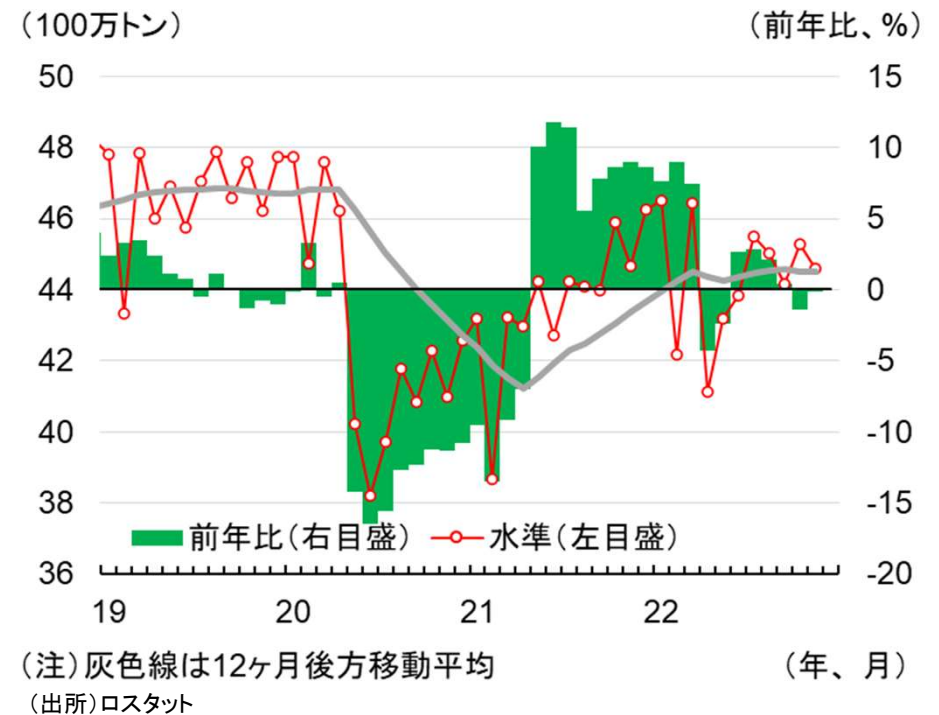
## ロシア景気概況② 生産は減少

ロシアの2022年11月の鉱工業生産は前年比▲1.6%と、2ヶ月連続でマイナス幅が縮小したが、均した動きは下向き。鉱業が同▲1.9%と前月(同▲2.9%)よりマイナス幅が縮小し、また製造業は同▲1.9%と2ヶ月連続でマイナス幅が縮小した。

### 鉱工業生産



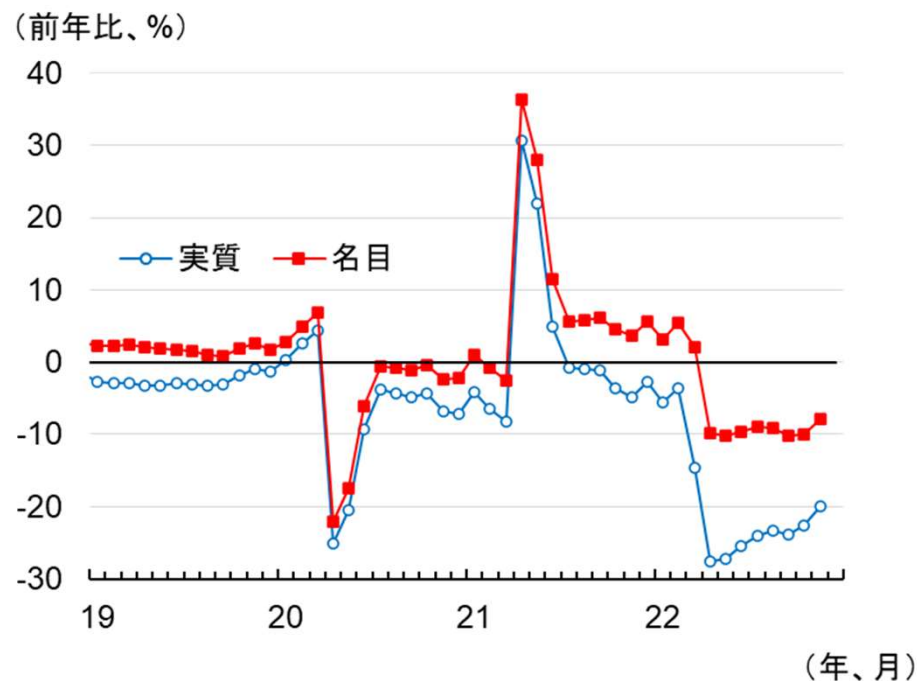
### 原油・超軽質油生産量



## ロシア景気概況③ 消費は悪化

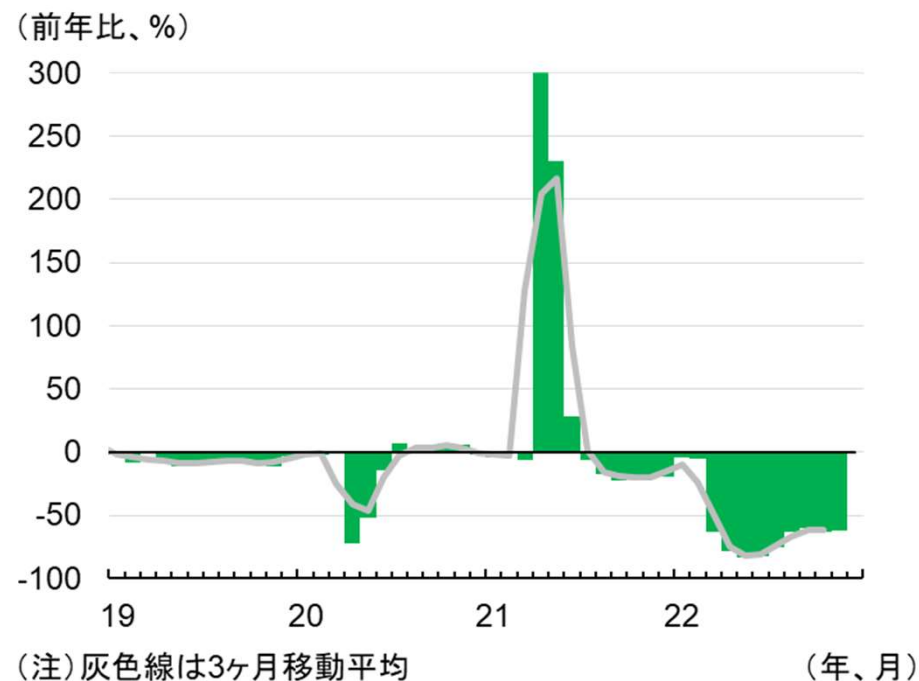
ロシアの2022年11月の小売売上高は前年比▲7.9%と2ヶ月連続でマイナス幅が縮小も、厳しい状況が続く。消費者物価で実質化した小売売上高もマイナス幅は縮小したが、依然として▲20%程度の水準。また11月の新車販売台数は前年比▲61.6%(4.6万台)と、前月(同▲62.8%)とほぼ同水準のマイナス幅。

### 小売売上高



(出所)ロスタット

### 新車販売台数

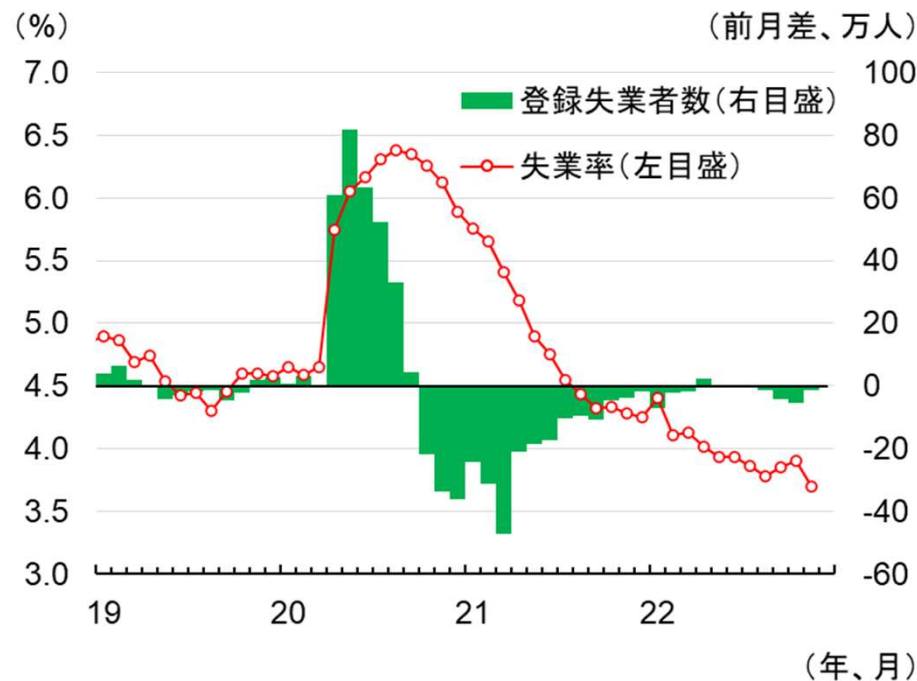


(出所)欧州ビジネス協会(AEB)

## ロシア景気概況④ 雇用は改善

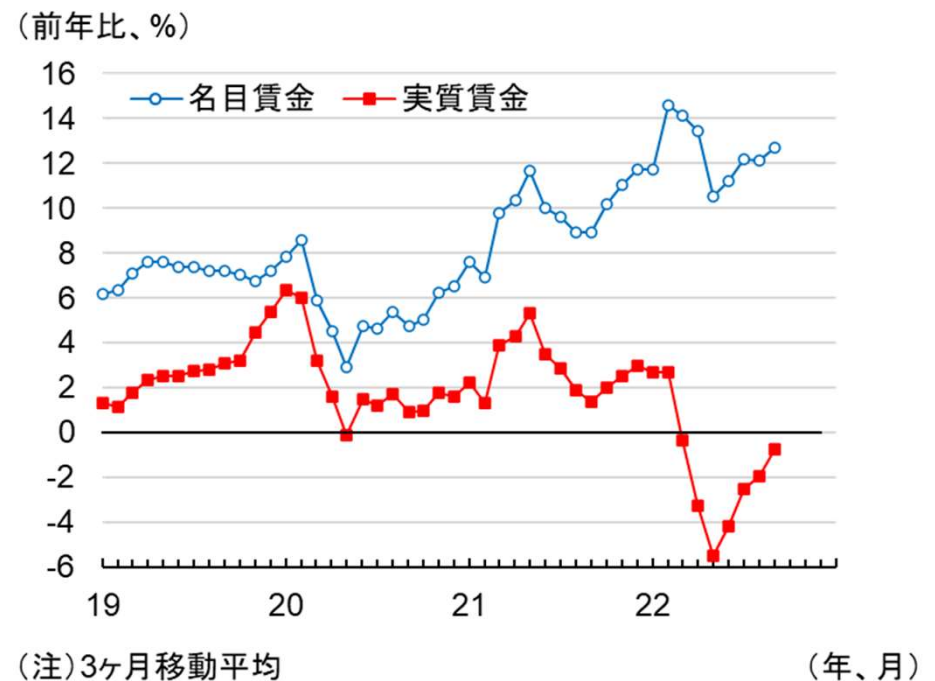
ロシアの2022年11月の失業率は3.7%と前月(3.9%)から低下した。また同月の登録失業者数は前月比1.2万人減と5ヶ月連続で減少も、10月(同5.3万人減)より改善幅が縮小。足元の雇用改善は、労働供給の構造的な減少(成年男子の徴兵及び国外脱出)を反映している公算大。一方、実質賃金はデスインフレの進展でマイナス幅が縮小。

### 失業率と失業者数



(出所)ロスタット

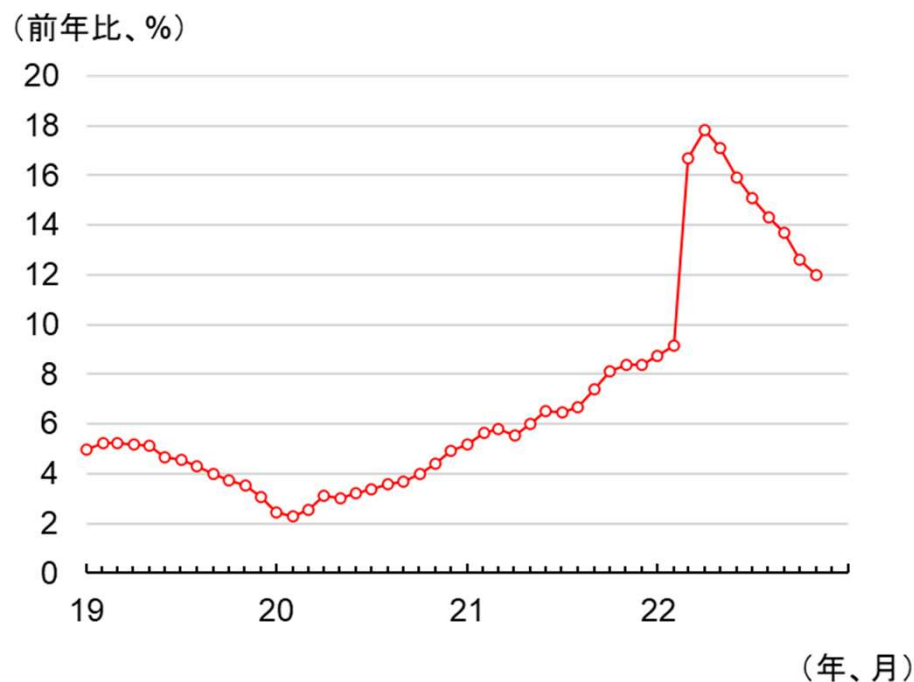
### 賃金動向



## ロシア景気概況⑤ インフレは緩やかに減速

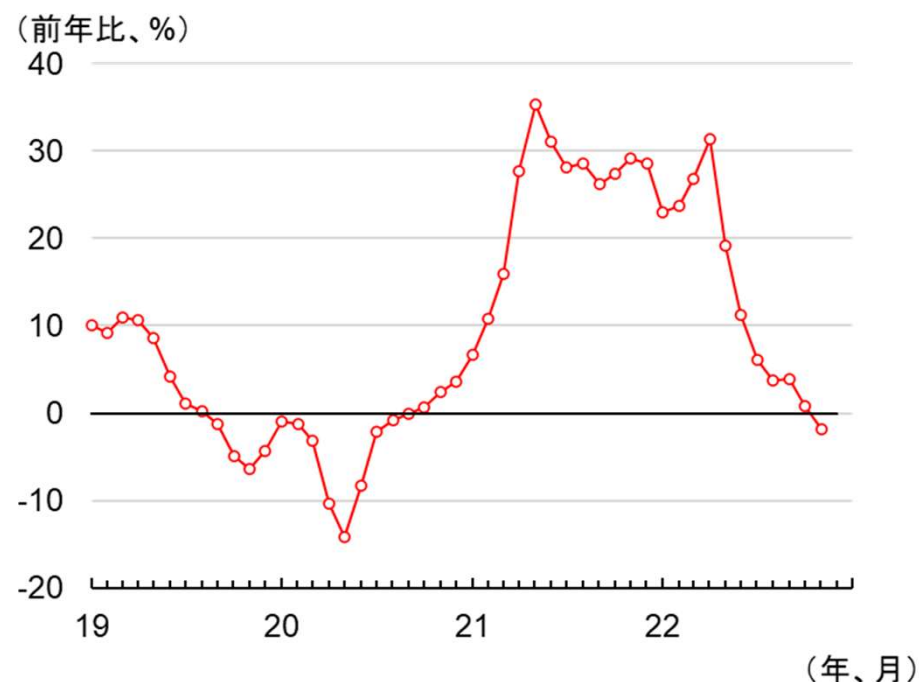
ロシアの2022年11月の消費者物価は前年比+12.0%と、デスインフレが進んだ。一方で、同月の生産者物価は同▲1.9%と、2020年8月以来の前年割れに転じた。ロシア中銀は12月の金融政策決定会合の際、家計と企業のインフレ期待は高いままだとして、2023年の消費者物価上昇率が5-7%程度になるとの見通しを示した。

### 消費者物価



(出所)ロスタット

### 生産者物価

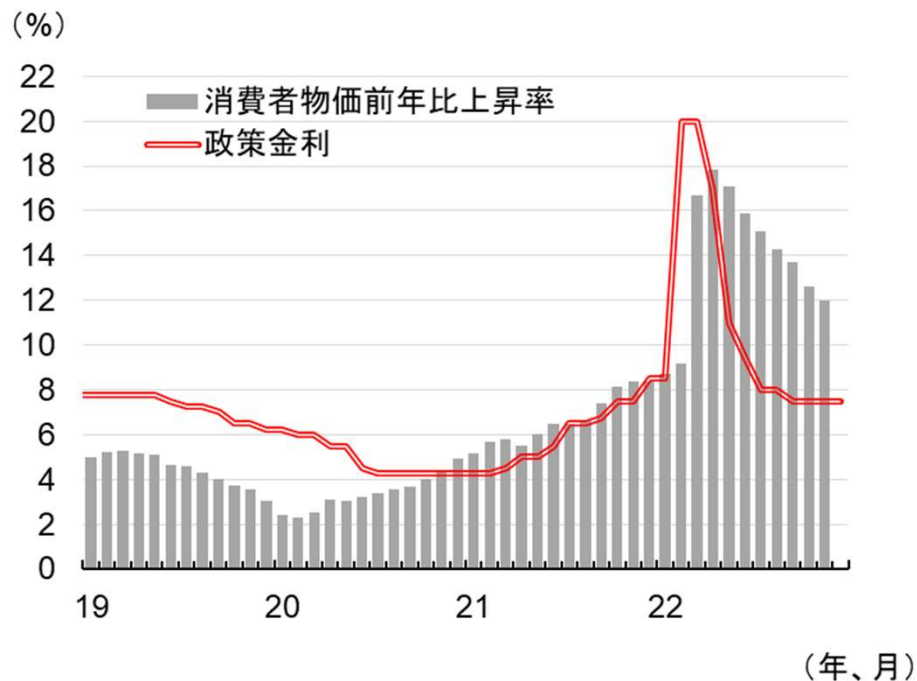


(出所)ロスタット

## ロシア景気概況⑥ ロシア中銀は金利を据え置き

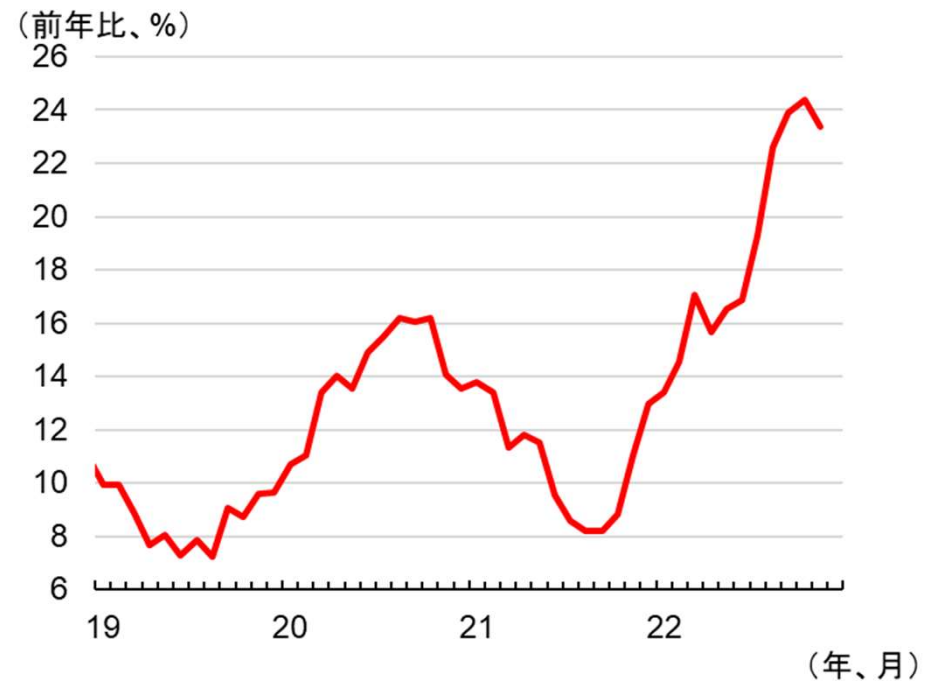
ロシア中銀は12月16日に2022年最後となる金融政策会合を開催、政策金利(キーレート)を年7.5%で据え置いた。貨幣供給量(M2)は、ロシア中銀が流動性支援を行っていることもあり、高水準での伸びが続いている。

### 政策金利と消費者物価



(出所)ロシア中銀、ロスタット

### 貨幣供給量(M2)



(出所)ロシア中銀

## ロシア景気概況⑦ 金利は横ばい、株価は下落

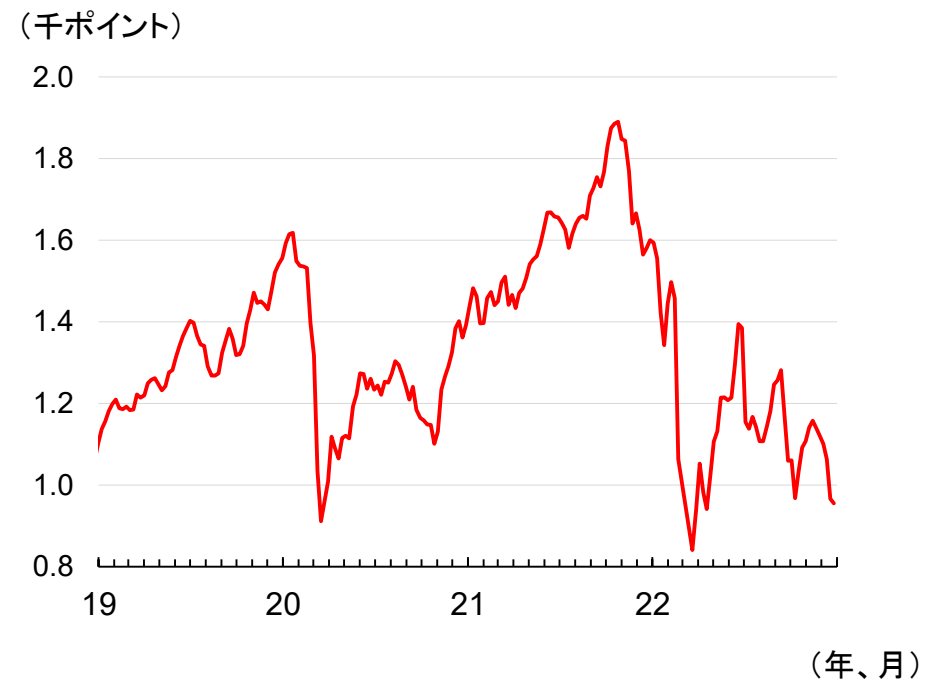
ロシアの2022年10-12月期の長期金利は横ばい。米国発の金利上昇圧力も一服しており、その影響も受けたと考えられる。一方で、ロシアの10-12月期の株価は下落した。世界的に軟調な株価の流れを受けたものと推察される。

### 10年国債流通利回り



(出所)ロシア財務省

### 株価(RTS指数)



(出所)モスクワ取引所



## ロシア景気概況⑧ 通貨は対ドル、対円で下落

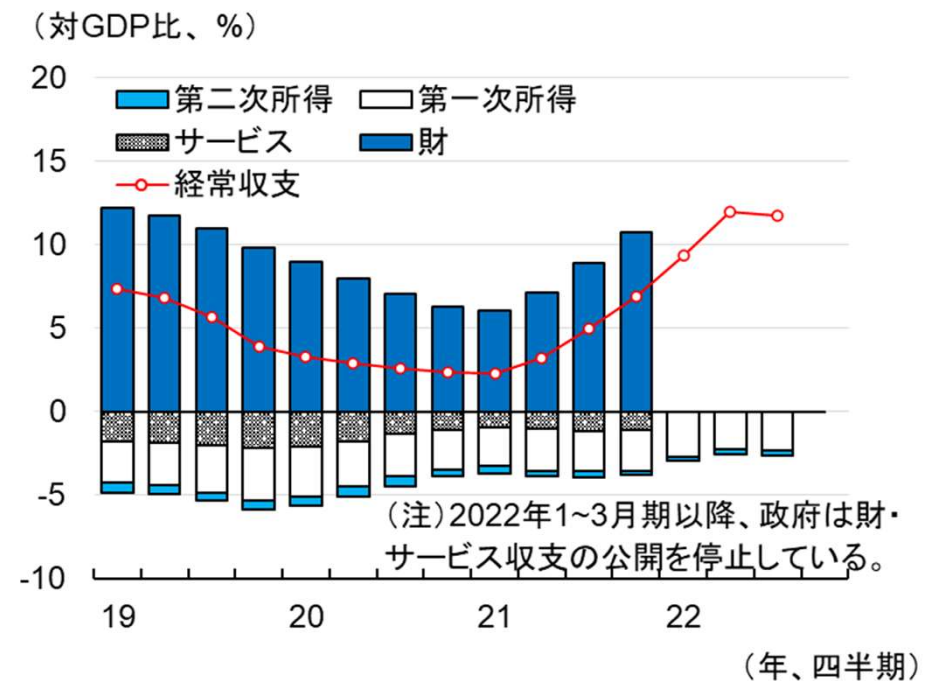
2022年10-12月期のルーブル相場は対ドル、対円で下落した。世界的なドル高の流れが一服し、円が買い戻される一方で、ロシアから資本流出が加速した可能性がある。他方で、新興国向けに堅調な輸出を受けてロシアの経常収支は大幅な黒字を維持しており、これがルーブルの下値を支えている模様。

### ルーブル相場



(出所)ロシア中銀

### 国際収支

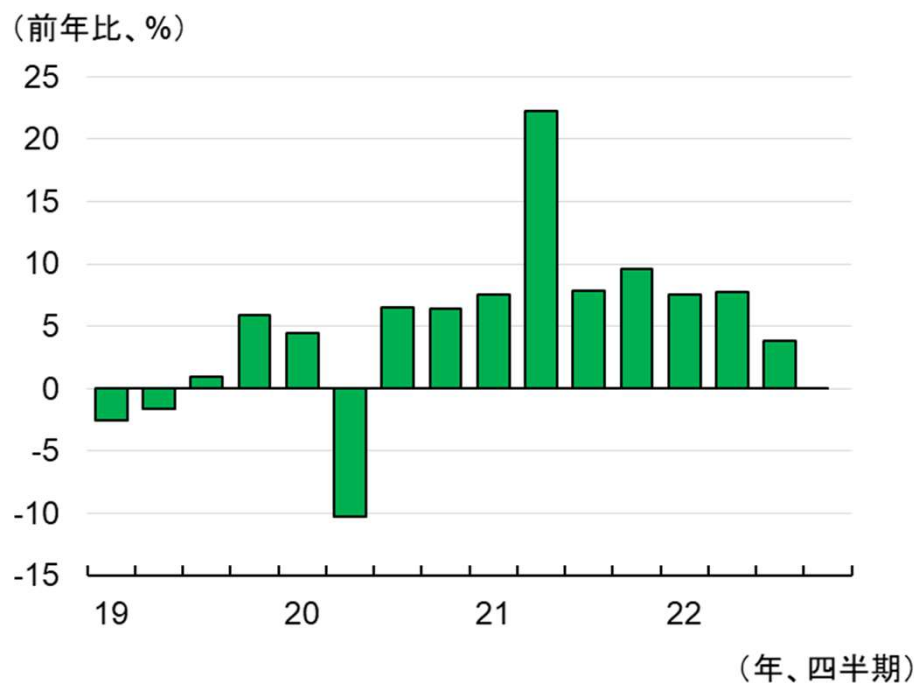


(出所)ロシア中銀

## トルコ景気概況① 景気は減速している

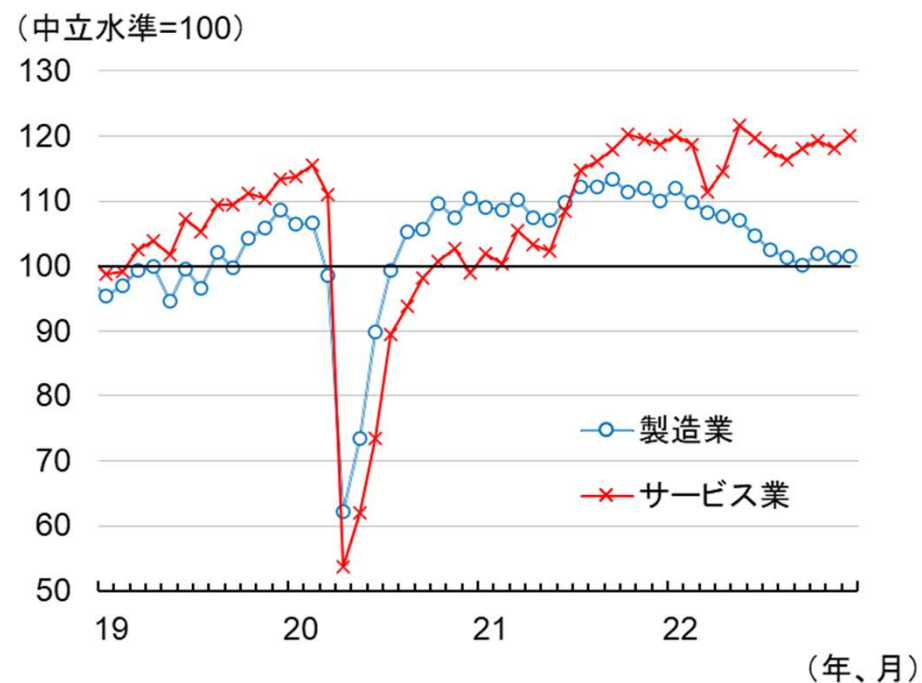
トルコの2022年7-9月期の実質GDPは前年比+3.9%と、前期(+7.7%)から増勢が鈍化した。続く10-12月期の企業の景況感指数は、製造業・サービス業ともに中立水準(100)を上回った。サービス業は高止まりした一方で、製造業は中立水準をわずかに上回る程度で横ばいとなった。

### 実質GDP



(出所)トルコ統計局

### 企業景況感指数

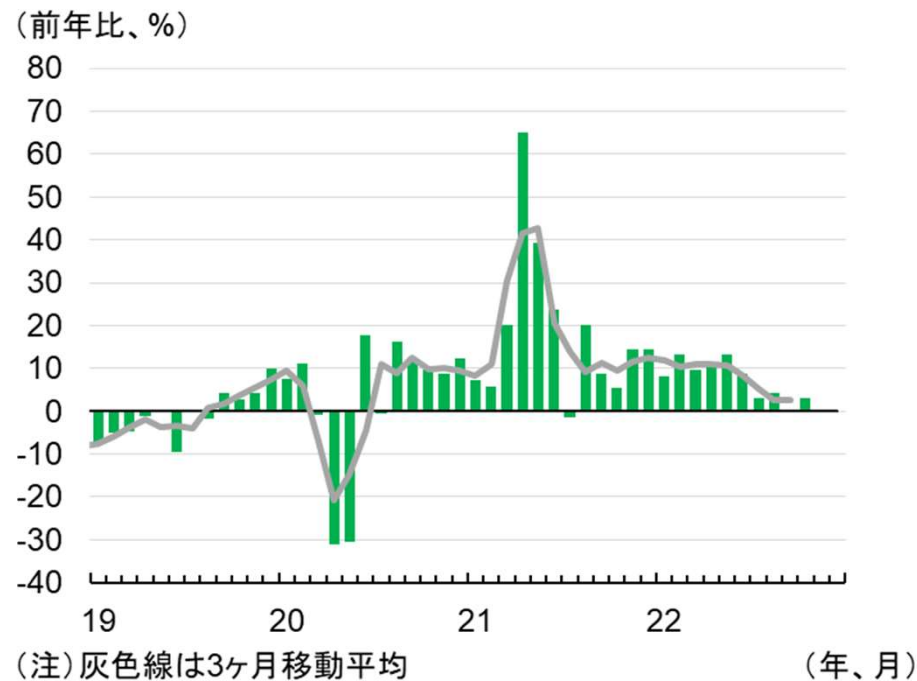


(出所)トルコ中央銀行、トルコ統計局

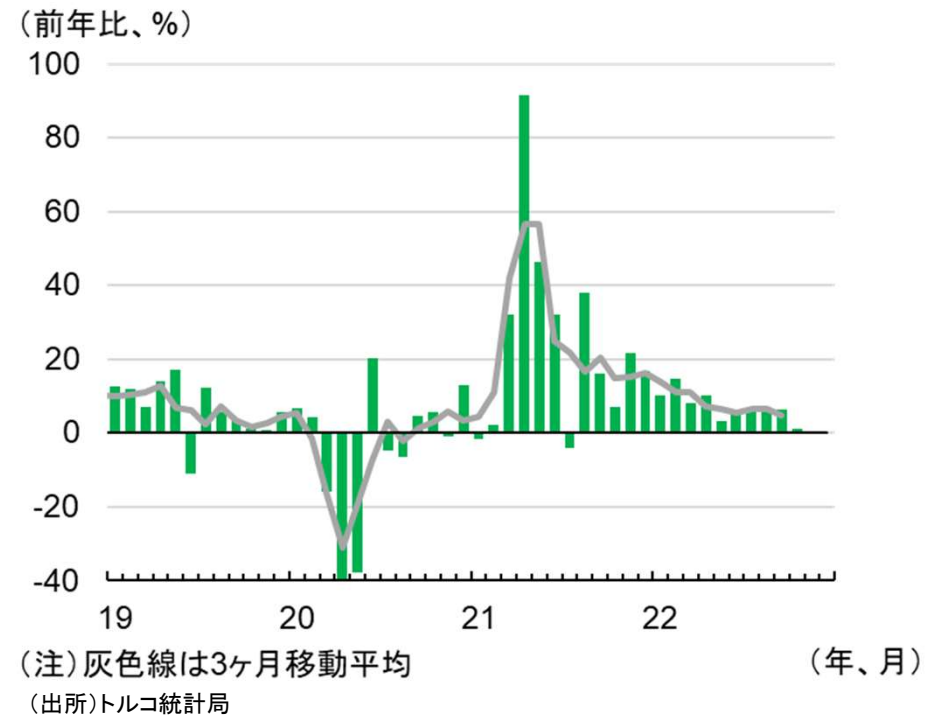
## トルコ景気概況② 生産は増加

トルコの2022年10月の鉱工業生産は前年比+3.1%と前月(同+0.4%)から反発も、均した動きは下向き。一方で、同月の実質輸出は同+1.1%と9月(同+6.2%)から増勢が失速し、均した動きも下向き。

### 鉱工業生産



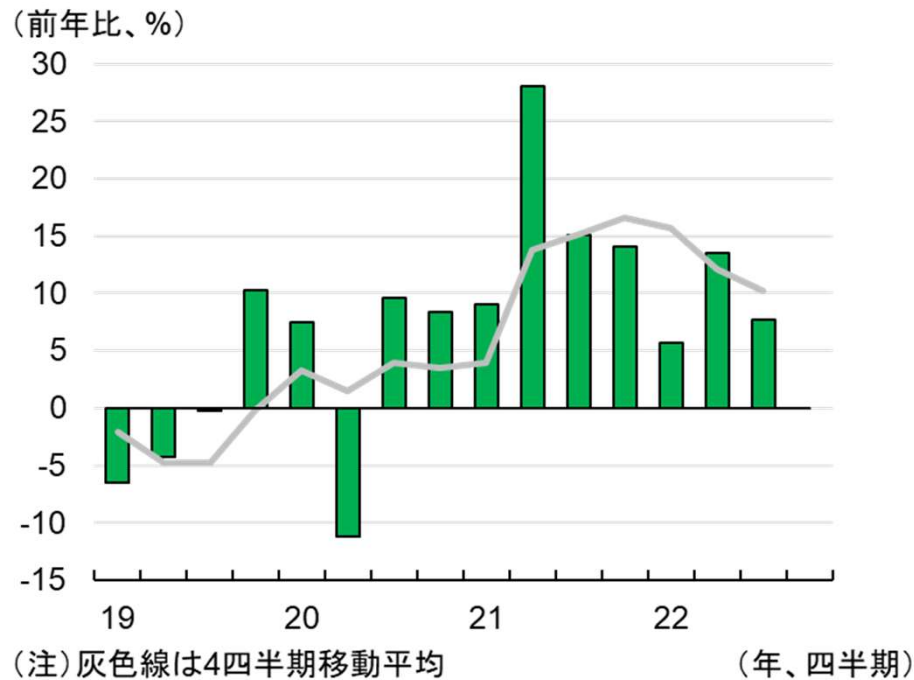
### 実質輸出



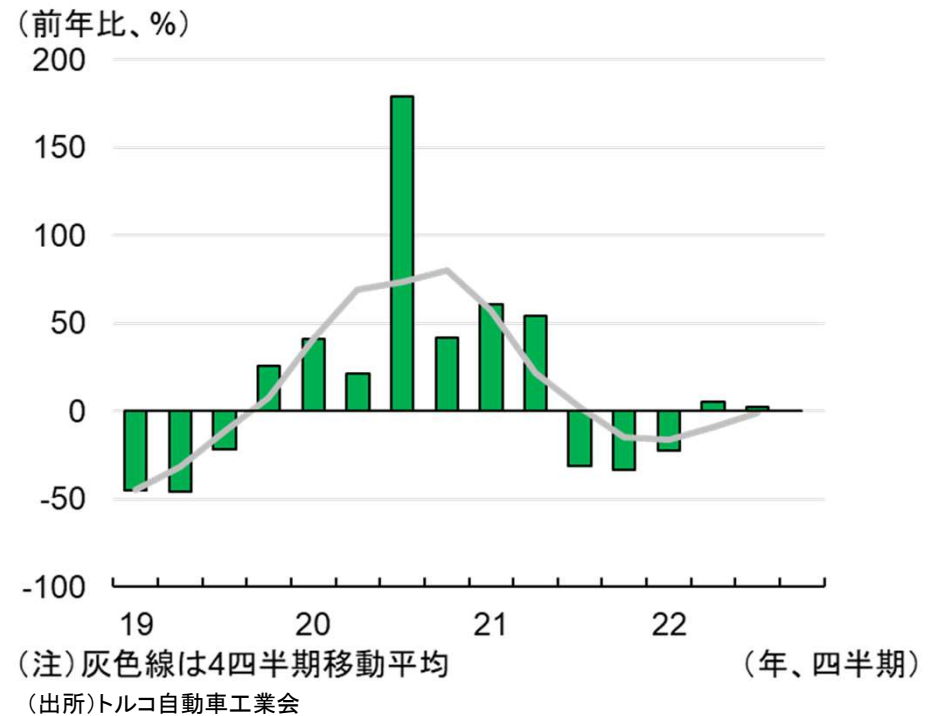
## トルコ景気概況③ 消費は増加

トルコの2022年7-9月期の小売数量は前年比+7.7%と増勢が再び減速し、均した動きも下向き。コロナ禍での繰越需要が一服したことに加えて、高インフレで需要が抑圧されたことが理由と考えられる。また同期の新車販売台数は同+2.4%と、前期(同+5.0%)から増勢が減速した。

### 小売数量



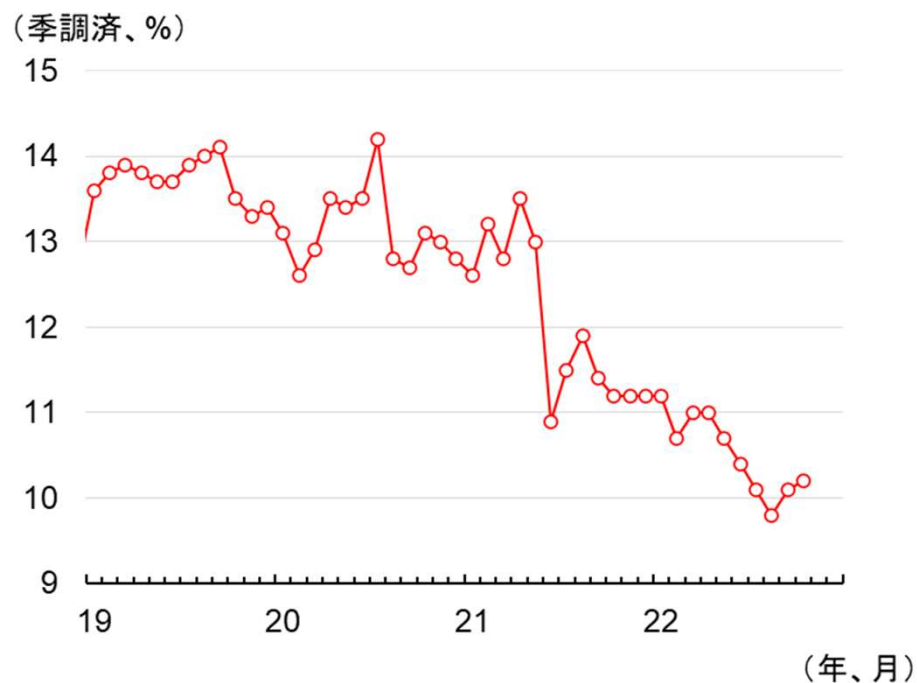
### 新車販売台数(乗用車)



## トルコ景気概況④ 雇用は改善が一服

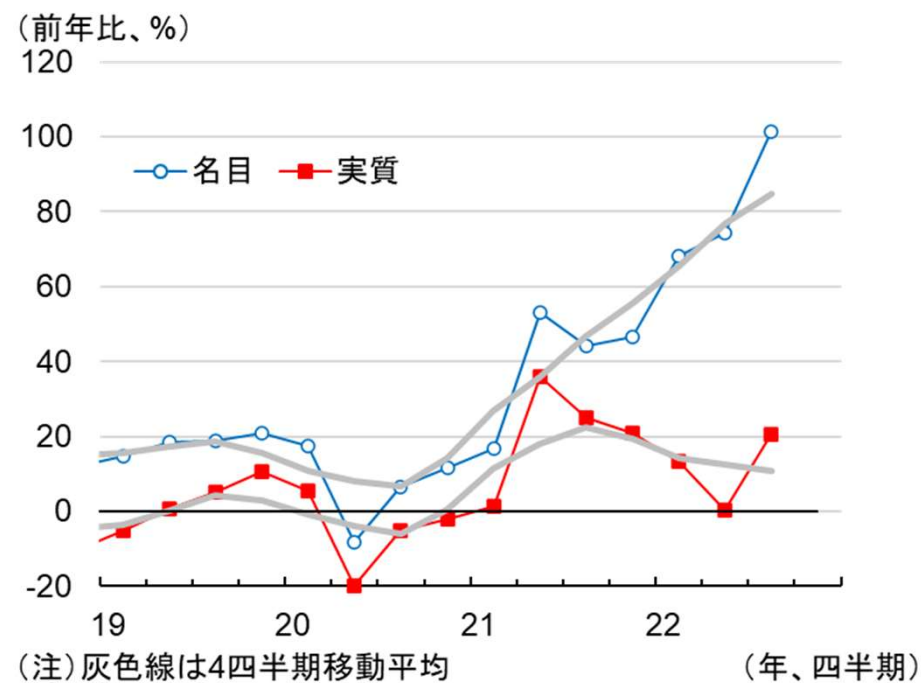
トルコの2022年10月の失業率は10.2%と2ヶ月連続で上昇しており、雇用情勢は改善が一服。一方で、7-9月期の賃金・給与指数は、名目ベースでは最低賃金引上げ(+50%)の影響から増勢の加速が続き、実質ベースでも均せば10%程度の増加テンポを維持した。

### 失業率



(出所)トルコ統計局

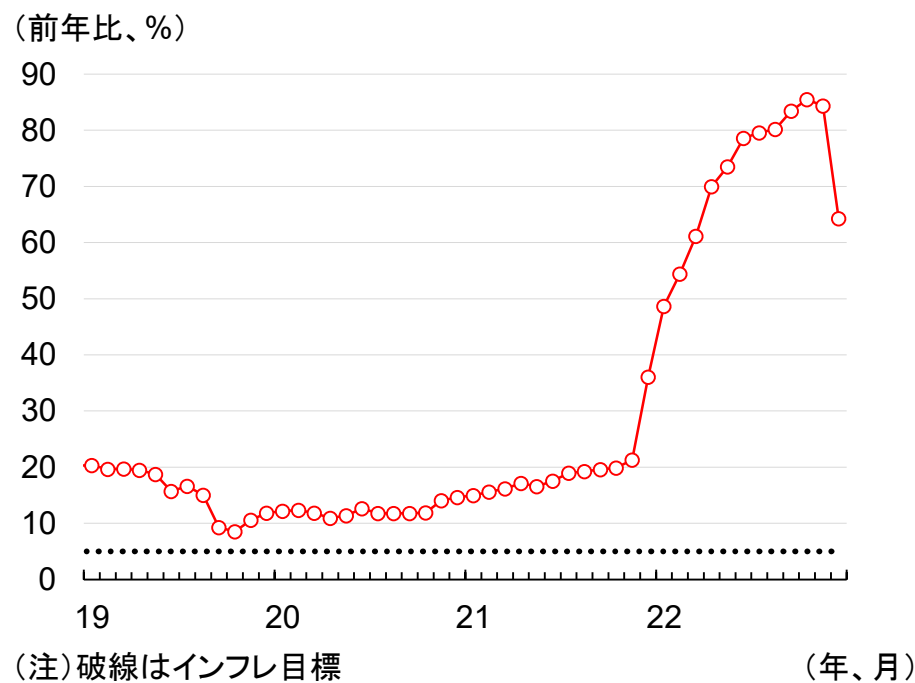
### 賃金・給与指数



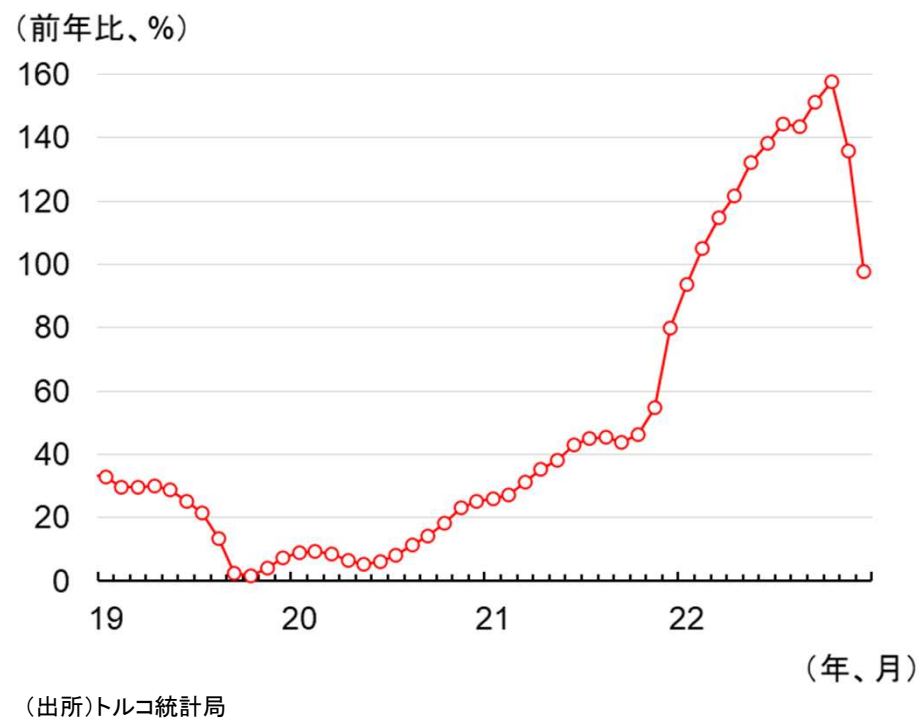
## トルコ景気概況⑤ 物価はインフレが鈍化

トルコの2022年12月の消費者物価は前年比+64.3%と、前月(同+84.4%)から上昇が鈍化した。また同月の生産者物価も同+97.7%と1月以来となる2桁の上昇率となった。それぞれの物価の上昇が鈍化した要因は、前年同月の高い伸び(消費者物価が前年比+36.1%、生産者物価が同+79.9%)に伴うベース効果が剥落したことにある。

### 消費者物価



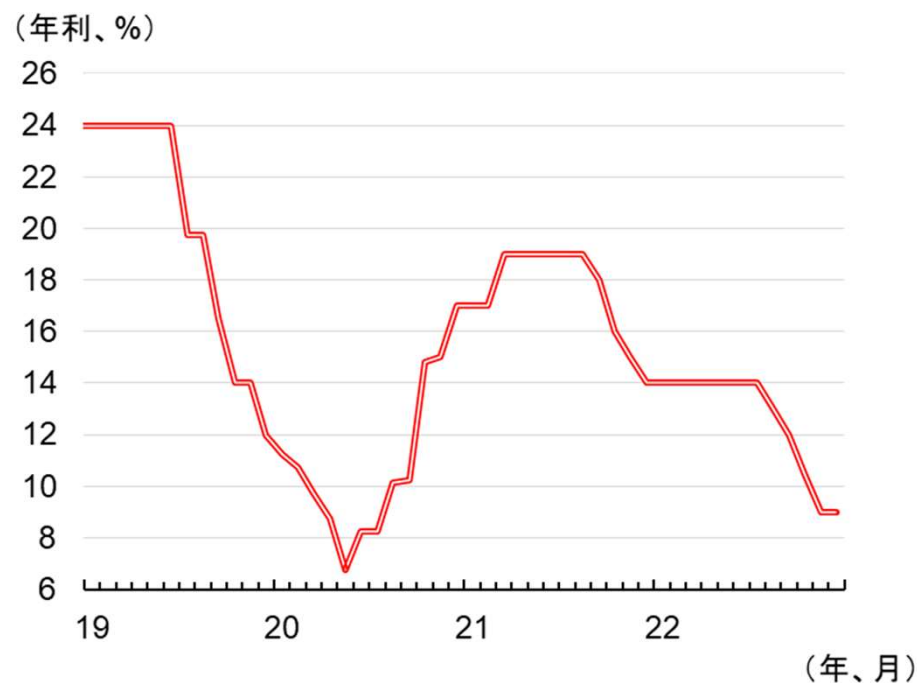
### 生産者物価



## トルコ景気概況⑥ トルコ中銀は利下げを打ち止め

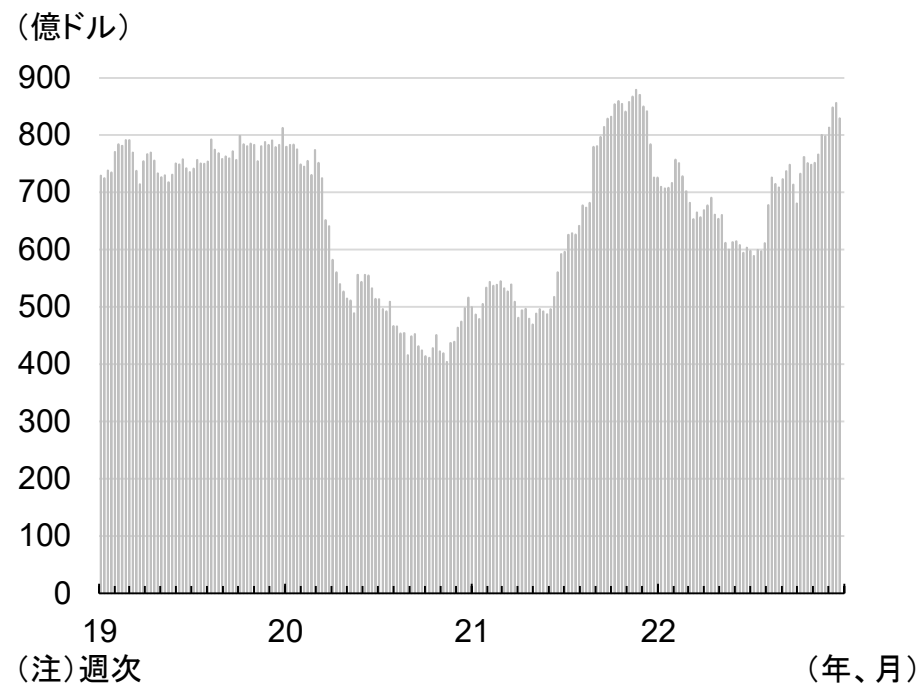
トルコ中央銀行は2022年11月の金融政策委員会(MPC)で政策金利(一週間レポ金利)を1.5%引き下げた一方で、緩和サイクルの停止を決定した(政策金利は12月末時点で9%)。一方で、トルコの外貨準備高は、中東各国からの借り入れなどを受けて回復している。

### 政策金利(一週間レポ金利)



(出所)トルコ中央銀行

### 外貨準備高(除く金)

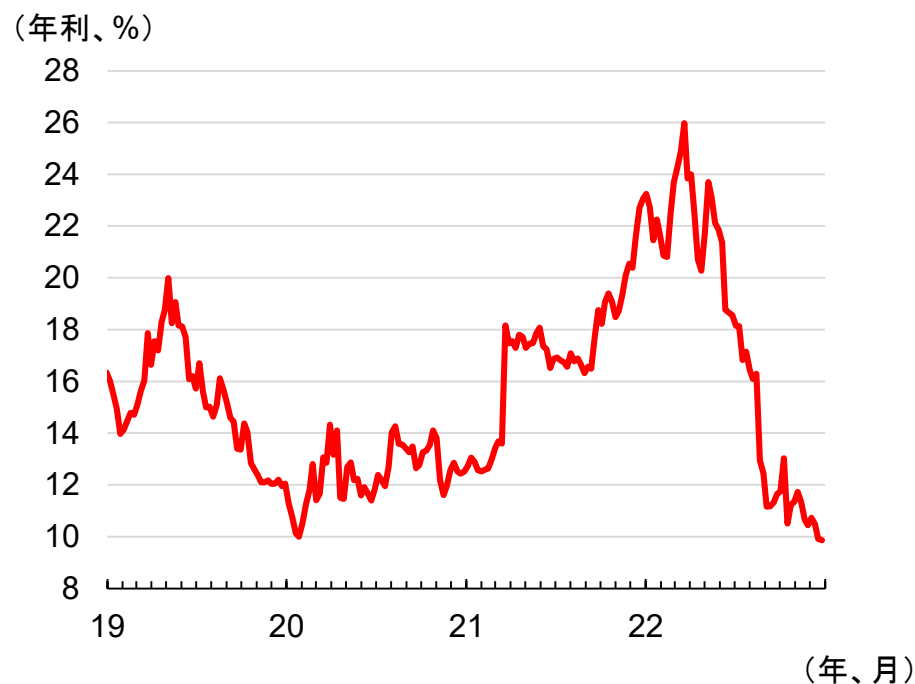


(出所)トルコ中央銀行

## トルコ景気概況⑦ 金利は低下、株価は上昇

トルコの2022年10-12月期の長期金利は低下した。トルコでは6月以降、政府が銀行に低利債の購入を義務付けており、このことが金利の低下につながったと考えられる。一方で、トルコの株価は上昇した。トルコ中銀による利下げに加えて、国内の投資家がインフレ対策・資産防衛の観点から株式を積極的に購入している模様。

### 10年国債流通利回り



(出所)トルコ中央銀行

### 株価(イスタンブール100指数)



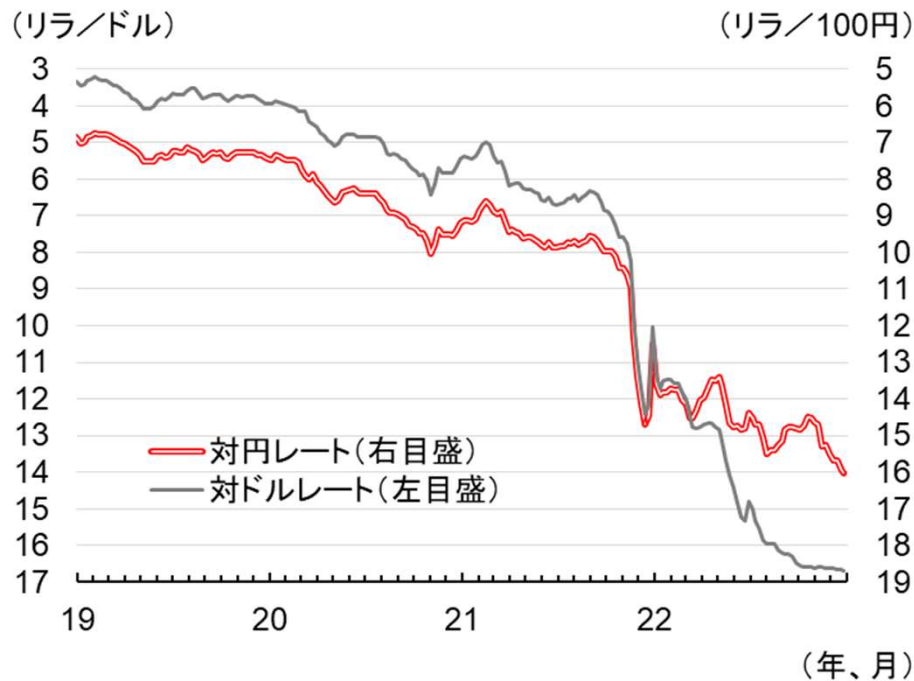
(出所)イスタンブール証券取引所



## トルコ景気概況⑧ 通貨は対ドル、対円で下落

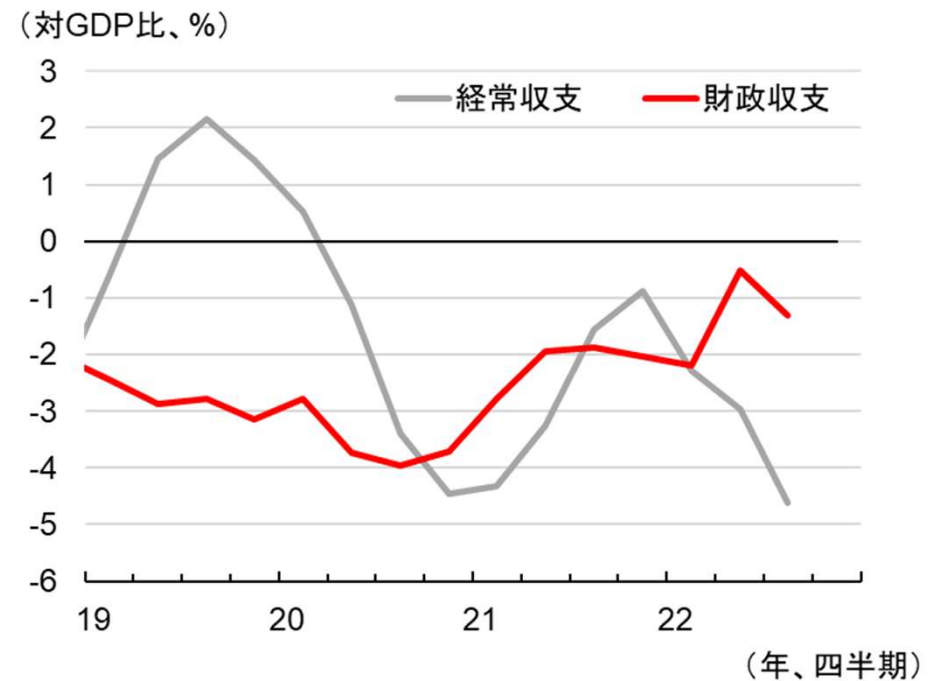
2022年10-12月期のリラ相場は対ドル、対円で下落。対ドルでは、世界的なドル高の流れが一服したことを受けて、リラ安のピッチが鈍化した。一方、対円では円高ドル安の流れを受けてリラ安が進んだ。経常収支は赤字幅が膨らんでおり、実需面からリラを買い支える圧力は弱まっている。

### トルコリラ相場



(出所)トルコ中央銀行

### 経常収支と財政収支



(出所)トルコ統計局

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 土田陽介 TEL:03-6733-1628 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

— ご利用に際して —

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください